

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 14 日

評価対象事業		評価者	市民健康課長	菊池 隆
健福-46	重点事業	ICT活用健康づくり事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 市民健康課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	市民の健康と安心づくりの推進

1 事業の目的

対象	市民、市内企業等
意図	健康アプリ等を活用し、市民等の健康の維持増進を図るため。
効果	市民等の健康に対する意識が高まり、自分から進んで健康の維持増進のための行動をとることができる。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりに関するポイント制度の管理・運営をし、市民の健康づくりを推進した。 市内の企業等と、健康づくりを推進するため連携を図った。 健康経営の推進を図るために開催を予定していた市内企業等を対象としたセミナーは、実施しなかった。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	世帯数	83,058世帯	
運営資源状況	事業の対象者数		事業の対象者数		
	決算値(千円)	7,896	7,837	当初予算(千円)	9,400
	国県支出金	5,771	6,616	国県支出金	0
	地方債	0	0	地方債	0
	その他	0	0	その他	0
	一般財源	2,125	1,221	一般財源	9,400
	人員配置数	0.4	0.6	人員配置数	0.6
事業経費運営	人件費(千円)	3,153	4,860	人件費(千円)	4,876
	総事業費(千円)	11,049	12,697	総事業費(千円)	14,276
	市民1人当りの経費(円)	63	72	市民1人当りの経費(円)	81
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい 今後も市が実施すべき事業か	2. 廃止・休止による影響は小さいがある 4. 市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能
有効性	事業の成果は得られているか	1. 成果は出ておらず、改善が必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	2. 事業の方向性は適切であるが、手法は見直す必要があり、あまり貢献できていない
公平性	受益者負担は公正・公平か	<input type="radio"/> 負担導入済 <input type="radio"/> 2. 適正な受益者負担を導入している
		△-1. 今後、市民等との協働による事業実施に向けた検討が必要である
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> その他
		見直しの内容 ・医療費抑制等を指標とした成果報酬型を導入することで、確かな成果を事業に反映させる。 ・「健康の見える化」が可能なシステムを導入し、市民の健康づくりに役立つ。
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 新たな事業者と契約し、システムの開発を行うため、予算規模の縮小は難しい。
	総評(評価に対する考え方、根拠等)	参加者数は順調に伸びていることは評価されるが、参加者の健康に対して具体的にどのような変化があったかという点までは成果として見えてこないことが課題として残る。また、継続率(アクティブユーザーの率)が低いため、参加者のモチベーションを維持するような働きかけも必要となる。 今後は、参加者数だけでなく、医療費抑制等の新たな指標を設けた上で、市民の健康づくりに寄与するような具体的な成果を出す必要がある。

令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	参加者数を増やすための方策、アクティブユーザー率の向上につなげるための方策を検討する必要がある。また、市内の健康経営を推進することを目的に、市内企業(市内在勤の方)にも利用していただくために、積極的に働きかけを行う必要がある。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	景品が当たるキャンペーンを新たに実施し、新規参加者の増加を図った。アクティブユーザー率向上のために、WEB上で実施するバーチャルイベントの充実を図った。市内企業に企業単位での参加を呼びかけ、鎌倉市役所をはじめ4団体が新規加入した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	参加者数は増加したが、アクティブユーザー数は伸びていないため、市民にとってより魅力的なコンテンツの提供や、効果的なインセンティブの検討を行う必要がある。	

◎ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	ウォーキング等ポイント事業参加者数/人口							
団体名	鎌倉市	横浜市	岡山市	高石市	名古屋市			
他市実績	目標5.0%	-	-	-	-			
	2.4%	8.0%	1.6%	5.3%	0.1%			

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	各市の状況(事業開始年度及び条件(参加料の有無等))が異なるため、単純に比較することは難しいが、本事業の成功には参加者数及び参加率が重要なファクターとなるため、今後も参加者数の拡大を図る必要がある。市全体の健康づくりを活性化するとともに、アクティブユーザー(申し込みだけでなく、実際に利用している方)の率を増やすための方策を検討する必要がある。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	事業者の参加者数	単位	人	指標の傾向	備考			
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	
多くの市民に運動習慣を身に付けていただくためには、参加者数を増やすことが必要であるため。	目標値	-	-	-	3,000	6,000	9,000	
	実績値	-	-	-	1,378	2,879	4,085	
	達成率	-	-	-	45.9%	48.0%	45.4%	

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	参加者数は伸びているが、目標値の半分程度でとどまっている。事業の活性化には、参加者数を増やすことが不可欠であるため、他事業との連携等によって参加者数の増加につなげていきたい。
-----------------------	---